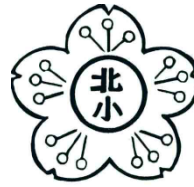


北小物語2018



平成30年 6月27日
平戸市立田平北小学校
学校便りNo. (26)
校長 曾川 和則

◇◇◇ 『い顔』『い声』『い心』 たゆみなく流れて清き「わが田平北小」 ◇◇◇

学校教育目標：「進んで学び、心豊かで、心身ともにたくましい児童の育成をめざす」

☆☆☆ 第26話：「とべないほたと『ほたることば』～北っ子の心を見つめる教育週間はじまる～！」の巻 ☆☆☆

きみはだいじななかまだよ



とべないほたる

北っ子の心を見つめる

瓊川のほとりの丘に一匹の「ほたる」が誕生しました。しかし、そのほたるは、他のほたると体の色が違い、羽もちぢれていました。そう、「とべないほたる」だったのです。

そのほたるを見て、「なんで、からだの色が違うの?」「そんなちぢれた羽でとべるの?」と少し冷ややかな言葉をかけるほたるたちがいました。「とべないほたる」は、悲しくて泣きました。

泣き続ける「とべないほたる」の耳に「だいじょうぶだよ!」「ぼくたちがそばにいるよ!」という声が聞こえてきました。先ほどのほたるとは別のほたるたちの声でした。「いっしょにやろう!」「きっととべるようになるよ!」この温かい言葉に包まれ、「とべないほたる」は、勇気をもって立ち上がりました。そして、ちぢれた羽を精一杯伸ばして、空へと向かうのでした。

「とべないほたる」を支えるかのように、仲間のほたるたちがスクラムを組み、ほたるたちは、大空へととび立っていきました。瓊川のほとりの丘は、ほたるたちのまぶしい光が、まるで初夏のクリスマスツリーとなって輝きました。「とべないほたる」は、もう「とべないほたる」ではありませんでした。

6月25日(月)～29日(金)の一週間は、「北っ子の心を見つめる教育週間」です。そのオープニングにあたり、子どもたちに「とべないほたる」のお話をしました。ほたるたちが残した言葉は、「とべないほたる」に大きな勇気を与えてくれました。その言葉の中には「みんなちがって、みんないいんだよ!」「きみは、だいじななかまなんだよ!」という言葉もありました。

「決して一人じゃない」・・・ほたるたちが残した「ほたることば」を大切に、北っ子228名は、互にかかわり・輝ける「仲間」になっていきます。

みんなちがってみんないい

ほたる

ことば

